



市民創世会  
山本 敏雄 議員

### 二元代表制について

**問** 昨今の市民目線は、大変厳しいものが議会に向けられている。市政運営に首長と議会は

等な立場であるため、その中で切磋琢磨して良い関係を築いていくことができたことと喜んでいる。

チエツク&バランスを保ちつつ、市民に対しては信頼関係の構築を図ること。私は、議会機能（二元代表制度）

**問** 地場産業の振興策を問う。Ⅱ実を結ぶ施策の展開をⅡ

が関連な議論の中進展するよう歩んでまいりたいという思いを持っている。

市政運営において二元代表制の市長の見解を問う。

**答**市長 適度な緊張関係のもと、健全な政策

論争が行われ今日の鯖江の繁栄が築かれてきたという思いがある。お互いに直接選挙による市民代表であって対

す。

③売れる商品開発の手法に実践を通じて学べる講座等の実施を予定。10月に河和田で開催予定の工芸イベント大日本市鯖江博覧会を主催する。

④若者に圧倒的なアピール力持つ著名人や、ファッション業界などと連携した商品開発や産地PR事業の展開、ブランド力の向上を目的にセミナーや勉強会の開催。等々

**要望** 産地産業発展が市税増収に結び付き市民サービスの向上となる。地元に残り安心できる就労環境。働く世代の所得増、等々。実を結ぶ施策の展開を図っていただきたい。



市民創世会  
木村 愛子 議員

### 河和田コミセンの改修について

**問** 改修計画は。

**答** 子どもからお年寄りまでが集いやすい施設として、コミセンの

利活用を考える会を発足させ、住民の意見等を10月末をめどにまとめ、実施設計を今年度中に終え、30年度工事中に31年度から新たなコミュニティセンターとして利用していただく。

**問** コミセンと公民館の位置づけは。

**答** 改修後はコミュニティセンターとしての機能強化を行い、公民館の機能を併せ持つ施設として、大学学生連携事業などのまちづくりの拠点としても位置づける。

**問** コミセンの館長職は残すのか。

**答** 機能強化と併せ今後検討していく。

### つじバスの運行について

**問** 病院への便や週末の運休、車椅子のニーズなど、利便性向上に向けた対策は。

**答** 幹線等各地区路線を併用した利用方法の周知に努め、職員がバスに乗車して最大限の努力をする。車椅子は安全上1台のみだが、障がい者の輸送サービスなど市全体の総合的な対応で検討する。

**問** バス停と自転車、目的地にレンタサイクルやシェアリングの事業拡大、あわせ歩道、自転車道の整備も必要と思うが。

**答** 鯖江駅観光案内所の

道の駅西山公園内の観光協会に相互に返却可能な貸出自転車の利用PRを行う。歩道や自転車道など安全に走行できる環境づくりに努める。自転車のシェアリングは、今後検討する。

### 「共生社会」づくりについて

**問** 県の条例制定の動きに市としての考えは。

**答** 第3次鯖江市地域福祉計画、第4次障がい者計画を策定している、更なる共生社会の実現に向け、各種施策の推進に取り組む。

**問** 非正規職員の制度や慣行等、他市の採用要綱を参考に見直しを。

**答** 近隣市町の動向や社会情勢、最低賃金の改定状況および財政状況を十分考慮し、賃金の引き上げを中心とする待遇見直しを行う。